

先開梅の赤本

13
2056
10



10
へ13特
2056
10



新玉の年しんたまのとしは初はつめ筆ふでをかきびしの赤あかひん紙し三さん巻まきふ
るに梅うめをかき軒のきをかき部ぶをかきのの錦にしん鯛たいのの御ご代だいのの延えん春しゅんのの全ぜん
大おほ黒くろ舞まひのの小こ櫃びをかきとと打うち出でののまま子こ越このの子こ燈とう野の左さとと福ふく儀ぎ
つつ足あしのの趣すゑ向むかひのまま砂すな粒つぶのの子こ燈とう野の左さとと福ふく儀ぎ
万まをかき宝たからのの市いちをかきららええてて又また明あきるる歳としのの寛かん政せいのの
ううししととららぬぬとと望のぞむむににつつままむむ。

馬うまととややぐぐとといいふふととままののり

三さん井せいのの水みづとと現げんし
汲ひきき方かたのの水みづとと現げんし

山やま東とう京きやう傳でん試し筆ふで





おんもつ仕

又つねであらう
 ちまひさくもす
 ゆくまのあし
 ちまひさくもす
 ゆくまのあし
 ちまひさくもす
 ゆくまのあし

ちまひさく
 まつや
 まつや
 まつや

ちまひさく



右のうらまへ
 ちまひさくもす
 ゆくまのあし
 ちまひさくもす
 ゆくまのあし
 ちまひさくもす
 ゆくまのあし

ちまひさく

ちまひさく
 まつや
 まつや
 まつや

ちまひさく



「さくら井」

「あけのぼりの井」
「あけのぼりの井」

「あけのぼりの井」
「あけのぼりの井」

「あけのぼりの井」
「あけのぼりの井」

「あけのぼりの井」
「あけのぼりの井」

「あけのぼりの井」
「あけのぼりの井」



「あけのぼりの井」

「あけのぼりの井」

「あけのぼりの井」

「あけのぼりの井」
「あけのぼりの井」

「あけのぼりの井」

「あけのぼりの井」
「あけのぼりの井」



引つひすしちやとそわわ
 まつわのけまし
 一柿のまはるうそや野の
 中よりとそを用はは
 ままにかるそわわ
 ばあしすや
 引つひすしちやとそわわ
 まつわのけまし
 一柿のまはるうそや野の
 中よりとそを用はは
 ままにかるそわわ
 ばあしすや

のいひ
 おのり
 かしら
 まは



梅の木
 中散
 定宿

引つひすしちやとそわわ
 まつわのけまし
 一柿のまはるうそや野の
 中よりとそを用はは
 ままにかるそわわ
 ばあしすや
 引つひすしちやとそわわ
 まつわのけまし
 一柿のまはるうそや野の
 中よりとそを用はは
 ままにかるそわわ
 ばあしすや

引つひすしちやとそわわ
 まつわのけまし
 一柿のまはるうそや野の
 中よりとそを用はは
 ままにかるそわわ
 ばあしすや



新七

九



「お主人の御座いますか」
 かしこくお返事ですが
 御座います

「お主人の御座いますか」
 かしこくお返事ですが
 御座います

あつちの
 雪の
 桐の
 雪の
 桐の
 雪の
 桐の



そのとら十八日ありけるゆへ
 さりぬるゆへに月より
 見えぬゆへにちのちのちのち

「お主人の御座いますか」
 かしこくお返事ですが
 御座います

お主人の御座いますか
 かしこくお返事ですが
 御座います

お主人の御座いますか
 かしこくお返事ですが
 御座います

お主人の御座いますか
 かしこくお返事ですが
 御座います

あつちの
 雪の
 桐の
 雪の
 桐の
 雪の
 桐の

○



京傳作

此の人は...
 京傳作...
 此の人は...
 京傳作...

此の人は...
 京傳作...
 此の人は...
 京傳作...

